

2. 「ふるさと郡山」の未来を考えよう。

私たちのふるさと「郡山」は、奈良・平安時代に設置されていた古代安積郡衙（ぐんが）が地名の由来となった歴史の古い街です。近年の発掘調査により、古墳時代の「大安場古墳群」や中世の「荒井猫田遺跡古墳」などの古に栄えた郡山の姿を次々と蘇らせています。

このような歴史を持つふるさと「郡山」は、現在33万人を有する東北有数の都市として現在も発展を遂げています。先人の英知と努力によりすばらしい現在の「郡山」があるように、これからの「郡山」をさらにすばらしい街にするために、未来の「郡山」のまちづくりについて考えてみましょう。

現在の郡山市で取り組み

少子化・高齢社会に対応するまちづくり

- 介護保険制度の円滑な運営
- 生涯学習体制の充実（あさかの学園大学、公民館高齢者学級など）
- 保育サービスの充実（乳児保育・延長保育等）



▲保育所

環境に配慮したまちづくり

- ペットボトル・プラスチック類の分別収集実施
- リサイクルプラザ稼動
- ダイオキシン対策の実施（河内清掃センターの改修）



▲リサイクルプラザ

水と緑のまちづくり

- 公園の整備（21世紀記念公園等の公園の整備）
- 水と緑がきらめくシンボル軸の整備
- 緑のまちづくりへの市民参加システムの整備
- 市道の補修に伴う高質化工事と木々の植栽



▲石釜ふれあい牧场